

## 自死遺族支援事業

【実施主体】愛知県岡崎市

### 【概要】

自死やその行為は、本人だけでなく、遺された家族や周囲の人々に大きな悲しみや深刻な心理的影響を与えることから、自死遺族を対象に個別の面接相談を実施し、その苦しみを和らげることや二次的な自死の防止など、自死遺族を精神面からケアすることを目的とする。

### 【大綱の分類】

9. 遺された人への支援を充実する

### 【政策パッケージ分類】

- 基1) 地域におけるネットワークの強化
- 基2) 自殺対策を支える人材の育成
- 基3) 住民への啓発と周知
- 基4-1) 居場所づくり
- 基4-2) 自殺未遂者等への支援
- 基4-3) 遺された人への支援
- 基5) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
- 重1) 子ども・若者
- 重2) 勤務・経営
- 重3) 生活困窮者
- 重4) 無職者・失業者
- 重5) 高齢者
- 重6) ハイリスク地
- 重7) 震災等被災地
- 重8) 自殺手段
- その他 (いずれにも該当しない、妊産婦、マイノリティ等)

【事業実施年度】2021年

【事業予算】¥39,280

### 【利点】

- ▼自死遺族を対象に個別の面接相談を実施することで、苦しみの緩和や二次的な自死を防止することができる。
- ▼自死遺族を対象とした相談を定期的実施することで、自死遺族の孤立を防ぐことができる。

### 【実施に至るまで】

#### 背景・必要性・理由の概要

- ①岡崎市の2020年の自殺死亡率は17.03となっており、全国(16.7)より高い。
- ②2017年度実施の市民意識調査で「身内や友人に自ら命を絶たれた方」が23.5%と高い。
- ③自死遺族は深い悲しみや自責の念を抱き、孤立状況に陥ることが少なくないため、必要な支援や情報を提供できるよう、個別の自死遺族相談事業を実施。

**事業計画を立てる上での工夫**

①自死遺族相談は相談対応スキルにおいて専門性が求められるため、外部の相談員（リメンバー名古屋自死遺族の会）に依頼。

**事業の具体的な内容**

▼内容及び目的

・自死遺族を対象に個別の面接相談を実施。苦しみの緩和や二次的な自死の防止など、自死遺族を精神面からケアすることを目的とする。

▼事業の対象者

・市内在住の自死遺族（家族、恋人、友人等）。

▼実施回数

・2021年6月、9月、12月、2022年3月の4回。

**【成 果】**

▼自死遺族の心理的ケアや支援ニーズに応じた情報を提供し、孤立を防ぐ一助となれた。

▼自死遺族相談事業を定期的に周知することで、自殺対策事業の相談体制の充実を図ることができた。

▼外部の相談員が実施する個別相談に市職員も同席することで、スキルアップを図ることができた。

**【補 足】**

▼2021年6月、12月、2022年3月は相談希望者がいなかったため、事業を未実施。

**【課 題】**

▼自死遺族相談を定期的で開催すると、相談希望者がいないことが多く、事業の周知の面で課題が残る。現在は庁内関係部署等にチラシを置くなど周知しているが、今後は葬儀関係等、民間への周知も必要だと思われる。

【事業種別】	自死遺族支援
【準備期間】	180日
【人 数】	2人（担当職員）
【人口規模】	3,858,230人（2021年4月1日現在住民基本台帳人口）
【財政規模】	¥122,100,000,000（2021年度一般会計当初予算）
【自治体負担率】	50%（補助金名：地域自殺対策強化事業費補助金）
【事業対象】	自死遺族で相談を希望する者
【支援対象】	自死遺族
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	TEL：0564（23）6715 愛知県岡崎市 保健部健康増進課 Mail：hokenzoshin@city.okazaki.lg.jp

**【参考資料・文献】**

① 2020年中における自殺の状況（厚生労働省、警察庁）